

「わたしたちのくらしとパッケージ」 ～「プラっとサーチ」を使って、環境への取組を知ろう！～

■日時：2025 年 9 月 19 日(金) 11:45～12:35

■学校：品川区立日野学園 5 年生 3 クラス

日野学園は、品川区立の義務教育学校です。昨年度もプラっと探検隊の出張授業を行いました。今年も昨年度と同様に、5 年生 3 クラスで実施しました。

■プラっと探検隊：13 名

(株)エフピコ、花王(株)、大日本印刷(株)、TOPPAN(株)、
(株)ニチレイフーズ、日清食品ホールディングス(株)、
日鉄リサイクル(株)、マルハニチロ(株)、森永乳業(株)、
山崎製パン(株)、ライオン(株)



「パッケージの役割と環境」



まず、パッケージには、「中身を守る」「便利にする」「情報を伝えるなど」の役割があり、パッケージがあるから、中身の商品は工場で製造されたあとにお店に運ばれて、わたしたちはお店でパッケージのデザインや表示を見て選び、家に持って帰れることを説明しました。児童たちは、普段、気にしていなかったパッケージにそのような役割があることに興味を持ってくれました。

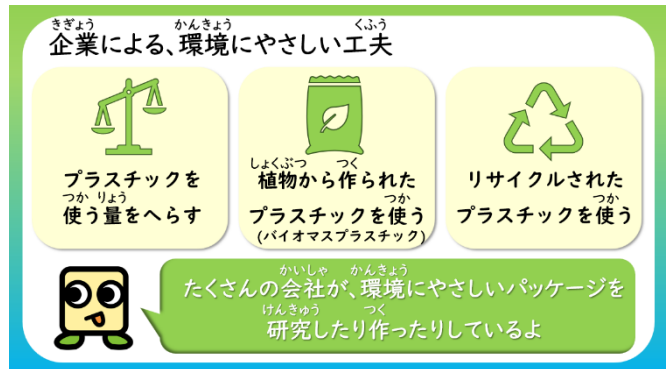
そして、中身を食べたり、使った後に捨てられるパッケージが「日本で一年間にアフリカゾウ何頭分になるといいますか？」というクイズを出しましたが、正解者は少なかったです。

しかし、パッケージごみを減らすために自分たちでできることについては、分別して資源ごみに出したり、マイバックや詰め替え製品を使うなど、たくさんの意見がでました。「ごみを減らすにはリサイクル」という発言もありました。児童たちが環境の取組みを学んでいること、また、日頃、ご家庭でもしっかりと環境への取組みを行っていることに、探検隊員も認識を新たにしました。

「パッケージの環境にやさしい工夫」

パッケージは、リデュース、リユース、リサイクル、リニューアブルの「3R+リニューアブル」の工夫が行われています。プラスチックの使用量を減らしたり、植物から作られたプラスチックを使ったり、リサイクルされたプラスチックを使ったりなどの「3R+リニューアブル」の工夫を具体的な商品を例に説明しました。

児童たちは3Rという言葉は知っていましたが、それが「普段食べたり、使ったりしている商品のパッケージに工夫されていることを初めて知った」と大変驚いていました。



「プラっとサーチ」を使って、調べてみよう！

児童たちと隊員たちは少人数のグループに分かれ、「プラっとサーチ」を使って、様々な商品のパッケージの環境に対する工夫を調べて、グループディスカッションをしました。

児童たちはiPadを使いこなし、次々と検索していました。給食に出てくる牛乳パックを見つけて大盛り上がりするグループや、一番プラスチックの使用量を減らしている商品を見つけて先生に報告したり、「お父さんがこの商品のパッケージが薄くなったと言っていた」とより身近に感じて喜んでいました。



身近な商品と一緒に調べる～自分ごと化

「プラスチックの語源は？」「石油からどうやってプラスチックを作るの？」「植物からどうやってプラスチックを作るの？」「どのようにリサイクルされるの？」「新しいパッケージを作るのにはどのくらいの時間がかかるの？」など専門領域の質問が多数ありました。

児童たちの関心の高さに応えるため、隊員たちも専門領域の内容をできるだけわかり易い言葉で表現しようと努めていました。児童たちもわからない言葉はすぐにインターネットで調べていました。

パッケージの裏面に表示されている環境表示の意味や、パッケージやトレイの形状の理由、「シュリンクフィルムの必要性などについても質問ができました。今まで気にしていなかったことに、この授業を通じて関心がもたれたことに隊員のモチベーションも上がります。



「パッケージが小さくなると、中身も少なくなるの?」「パッケージを工夫すると、商品の値段が上がるの?」といった消費者視点の質問をしてくれた生徒もいました。
「もちろん、そんなことはありません」というのが答えです。

隊員もモチベーションアップ

児童たちは企業で働くことにとても興味をもったようです。

「どうしてその会社に入ろうと思ったのか?」「仕事のやりがいは?」「会社に入るためにはたくさん勉強したの?」「専門の学校に行く必要があるの?」など、たくさんの質問が出ました。

また、当日は学校公開を実施中で、保護者の皆様も興味深く見学されていました。

先生からは、昨年度の授業が児童、教師、保護者から評判が良く、有名な企業が取り組んでいるSDGsを勉強できる機会であり、大人にとっても非常にためになるとの感想を頂きました。

「毎日手にする商品にもたくさんの工夫があることを初めて知った」「中身が同じなら環境に配慮された商品を買う」「好きな商品が環境に配慮されて商品だったのが嬉しい」など嬉しい感想をいただきました。身近な商品を事例として一緒に学ぶことが自分ごと化に繋がることを隊員自身も体験でき、今後の企業活動のモチベーション向上に繋がる授業になりました。